2022 年度 アンケート調査レポート

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

2023 年 4 月

一般社団法人 まちにわ ひばりが丘

協力：東京工芸大学 森田芳朗、横浜国立大学大学院 江口亨

2022 年度 アンケート調査レポート

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

0. アンケートの方法と回答者の概要 p.3

0-1. アンケートの方法
0-2. 回答者の概要

1. まちにわ ひばりが丘の評価 p.5

1-1. まちにわ ひばりが丘の認知度
1-2. 活動への賛同と評価

2. ひばりテラス 118 の利用状況 p.7

2-1. ひばりテラス 118 の利用状況
2-2. ひばりテラス 118 への現状認識と期待

3. 地域のつながり p.11

3-1. 親しく話をする人、頼み事ができる人の有無
3-2. 親しく話をする人、頼み事ができる人の変化

4. まちの魅力と課題 p.13

4-1. まちへの愛着
4-2. まちの魅力と課題
4-3. ひばりが丘の NPS

5. イベントへの参加と要望 p.13

5-1. イベントへの参加要望
5-2. 企画したい／して欲しいイベント

6. 管理組合との連携 p.13

6-1. 協力・連携への認識
6-2. 協力・連携への評価

7. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア p.15

6. まとめ p.17

0. アンケートの方法と回答者の概要

まちにわ ひばりが丘の活動が地域の方々にどう受け止められ、どんな効果を生んでいるのか、また、今後の課題は何かを明らかにするために、2015 年度からアンケート調査を実施しています。このレポートでは、2022 年度の調査結果を報告します。

アンケートでお聞きしたのは、①まちにわ ひばりが丘の評価、②ひばりテラス 118 の利用状況、③地域のつながり、④まちの魅力と課題、⑤イベントへの参加と要望、⑥管理組合との連携、⑦ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア、の 7 つです。ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

0-1. アンケートの方法

アンケートの配布・回収状況は表 0-1-1 の通りです。調査票は 2022 年 12 月に各戸のポストに投函し、マンション管理事務室ポスト、パークヒルズ管理事務所への持参、郵送、オンラインのいずれかで回収しました。

表 0-1-1. アンケートの配布数と回収数

街区	配布	回収	回収率
ひばりが丘フィールズ 1 番街	144	38	26%
ひばりが丘フィールズ 2 番街	156	30	19%
ひばりが丘フィールズけやき通り	119	38	32%
シティテラスひばりが丘	343	97	28%
プレミストひばりが丘	206	45	22%
プレミストひばりが丘シーズンビュー	140	41	29%
セキュレアガーデンひばりが丘	79	25	32%
ひばりが丘パークヒルズ（UR）	1458	182	12%
不明	-	4	-

図 0-1-1. ひばりが丘の各街区

0-2. 回答者の概要

まず、どんな方がアンケートに回答してくださったかを見てみます。

回答者の年齢は、新しく分譲された街区ほど、若い世帯が多くなっています（図 0-2-1）。家族構成は、分譲街区では「夫婦と未成年子」からなる子育て世帯が大半を占める一方、UR では、「一人暮らし」「夫婦」が中心です（図 0-2-2）。ひばりが丘（およそ同じ小学校区、中学校区）での居住年数からは、分譲街区でも再開発前からこのエリアにお住まいの方がおられることもわかります（図 0-2-3）。

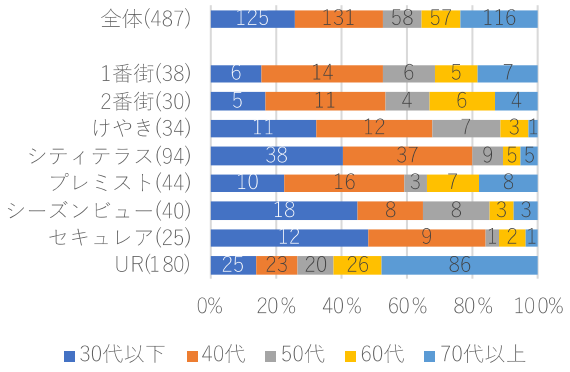

図 0-2-1. 年齢

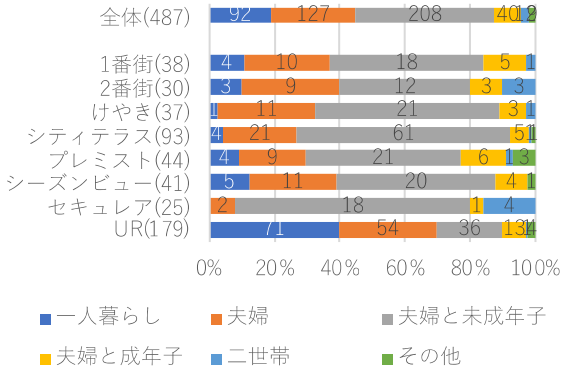

図 0-2-2. 家族構成

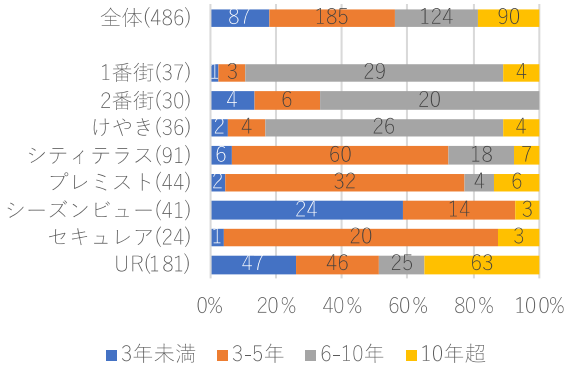

図 0-2-3. ひばりが丘での居住年数

1. まちにわ ひばりが丘の評価

まちにわ ひばりが丘（以下「まちにわ」）は、ひばりが丘のエリアマネジメントに取り組む一般社団法人です。2014 年より、ひばりが丘での暮らしをより魅力的にするための活動を続けています。その活動は、地域のみなさまにどう評価されているでしょうか。

1-1. まちにわ ひばりが丘の認知度

まちにわの存在と活動をともに「知っている」割合は、分譲街区でおよそ 7 割、UR では 3 割を占めます（図 1-1-1）。一方、「存在は知っている」が活動は知らないとの回答も 1/3 あり、具体的な取り組みの内容をもっと知ってもらうことが今後の課題といえます。

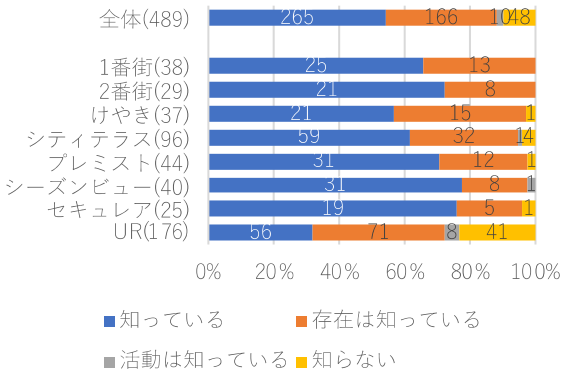

図 1-1-1. まちにわの認知度

まちにわの存在と活動をともに「知っている」人の割合の変化を図 1-1-2 にまとめました。一部の街区を除き、まちにわの認知度は前回 2019 年よりやや下がっています。

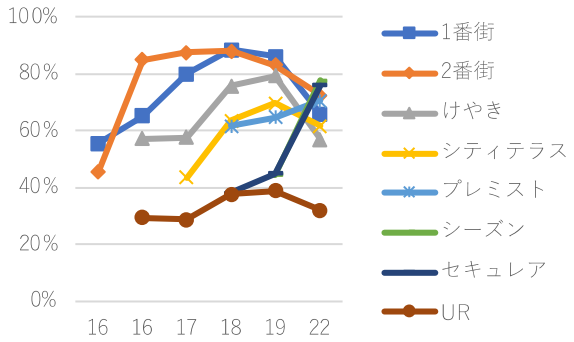

図 1-1-2. まちにわの認知度の変化

1-2. 活動への賛同と評価

次に、まちにわの活動趣旨に賛同するかを尋ねました（図 1-2-1）。分譲街区ではおよそ 9 割、UR では 5 割以上が「賛同する」と肯定的な回答が得られました。この割合は、2015 年の当初からほぼ維持されています（図 1-2-2）。

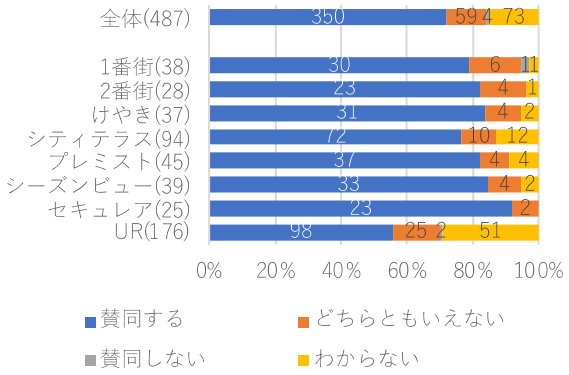

図 1-2-1. 活動への賛同

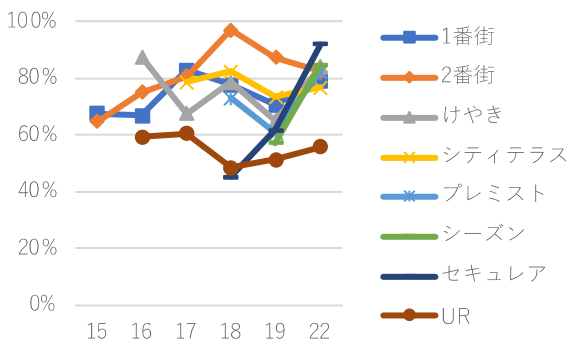

図 1-2-2. 活動への賛同の推移

次に、まちにわによるエリアマネジメント活動全般への評価を尋ねました。その結果を示したのが、**図 1-2-3** です。「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、分譲街区では 5〜8 割、UR では 3 割となっています。UR では、「わからない」という回答も半分近く見られました。

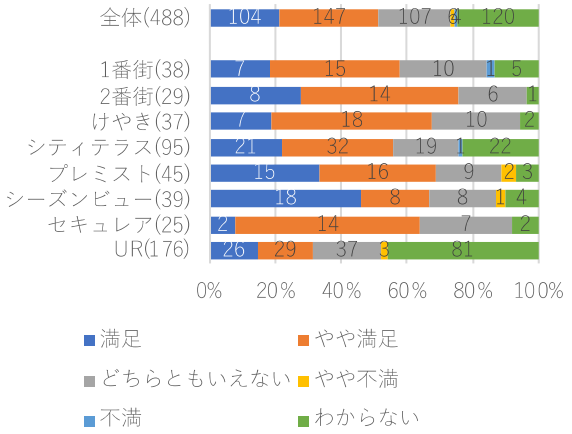

図 1- 2 -3. エリマネの評価

自由コメントでは「子育て世帯向けの活動に見えて気後れする」などの記述も見られましたが、未成年子の有無と活動の評価の間にはっきりした相関は見られませんでした（**図 1-2-4**）。ただし、単身世帯の評価はやや低くなっています。

図 1-2-5 には、年齢とエリアマネジメントへの評価の関係を示しました。「70 代以上」で「わからない」との回答が多くなっています。

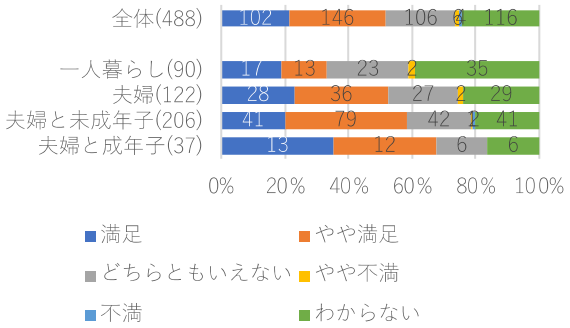

図 1- 2 -4. 家族構成と活動の評価

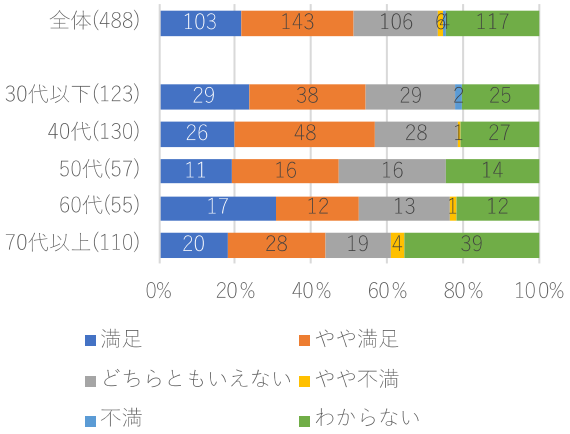

図 1- 2 -5. 年齢と活動の評価

2. ひばりテラス 118 の利用状況

まちにわの拠点であるひばりテラス 118（以下「ひばりテラス」）には、大小 6 つのコミュニティスペース、地域の作家さんとともに運営する手しごとのお店（ハンドメイドの雑貨ショップ HACO NIWA)、カフェ（COMMA, COFFEE)、フラワーショップ（風葉花)、ひばりテラス前の駐車場や広場で営業するキッチンカーなどがあります。

2-1. ひばりテラス 118 の利用状況

これらをこの 1 年間で利用したかを尋ねたものが、図 2-1-1～5 です。

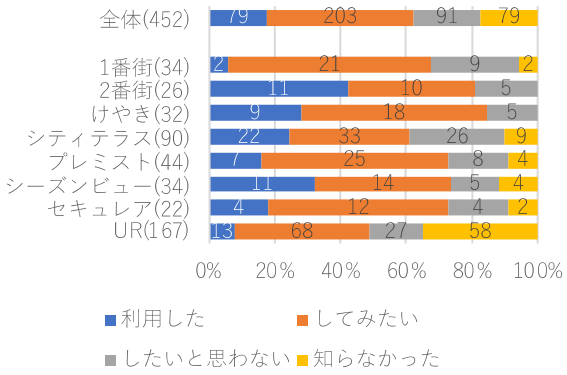

図 2-1-1. コミュニティスペースの利用状況

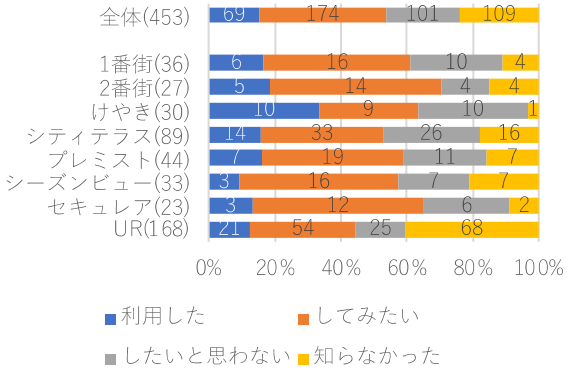

図 2-1-2. 手しごとのお店の利用状況

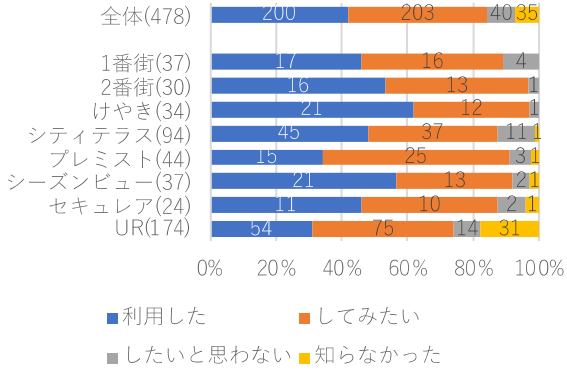

図 2-1-3. カフェの利用状況

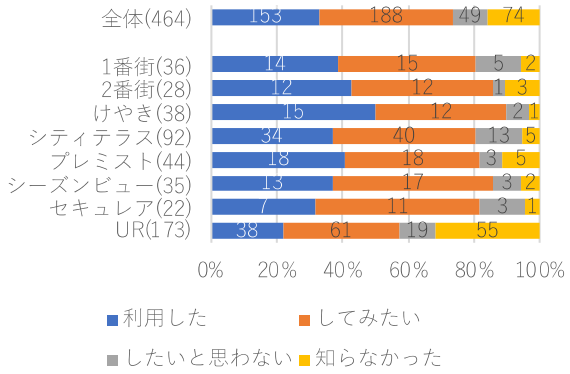

図 2-1-4. フラワーショップの利用状況

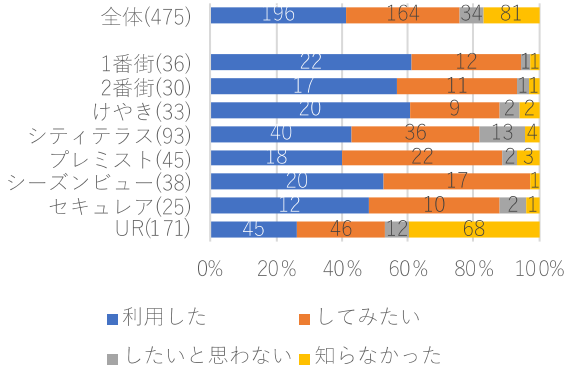

図 2-1-5. キッチンカーの利用状況

これらを利用した方は、それらをこの 1 年間で何回利用したか（図 2-1-6)。リピート率が高い順に「キッチンカー」「フラワーショップ」「コミュニティスペース」となります。

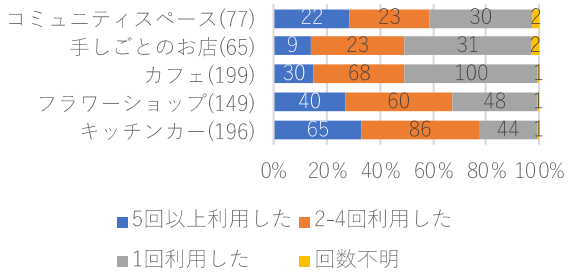

図 2-1-6. 各施設の利用回数

図 2-1-7、8 には、各施設のこれまでの利用率の変化を示しました。当初は「カフェ」の利用率の高さが目立っていましたが、現在は多様な施設が幅広く使われるようになっています。

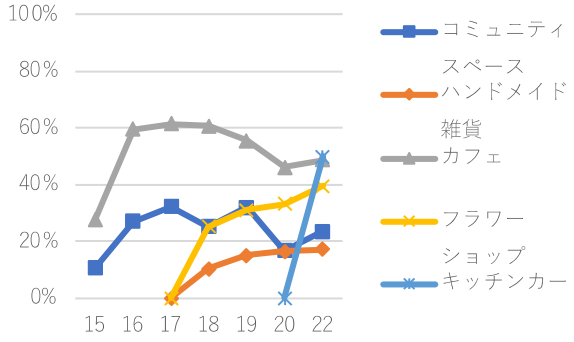

図 2-1-7. 各施設の利用率の変化（分譲）

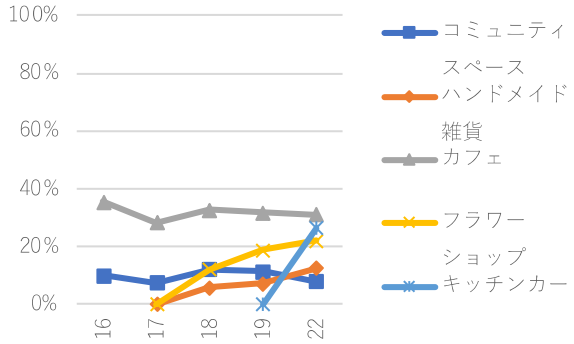

図 2-1-8. 各施設の利用率の変化（UR）

2-2. ひばりテラス 118 への現状認識と期待

図 2-3-1、2 は、ひばりテラスが現状どんな場であるかという認識と、今後どんな場になってほしいかという期待を尋ねた結果です。

現状認識としては、分譲街区、UR ともに、「交流の場」「憩いの場」「趣味の場」との認識が強くなっています。一方、現状認識を期待が大きく上回るものとしては、「見守りの場」「助けが見つかる場」などがあります。

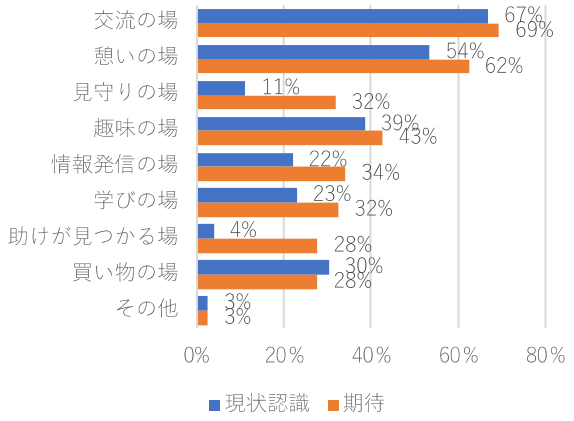

図 2-2-1.ひばりテラスへの現状認識と期待
（分譲、n=314）

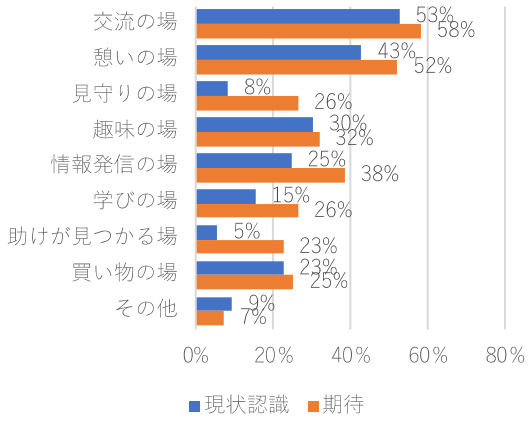

図 2-2-2. ひばりテラスへの現状認識と期待
（UR、n=314）

そうした認識と期待がこれまでどう変化してきたか、**図 2-3-3～6** にまとめました。分譲街区では、この 7 年間で「趣味の場」としての認識と期待が高まってきたことがわかります。

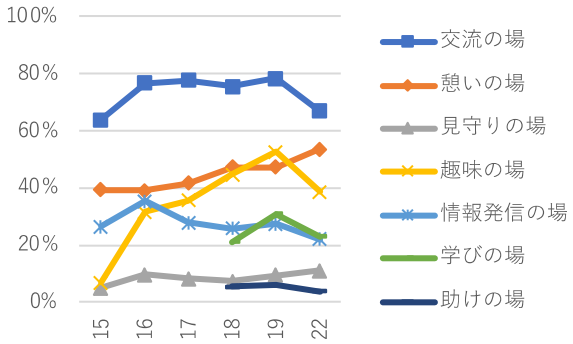

図 2-2-3. ひばりテラスへの現状認識の変化（分譲）

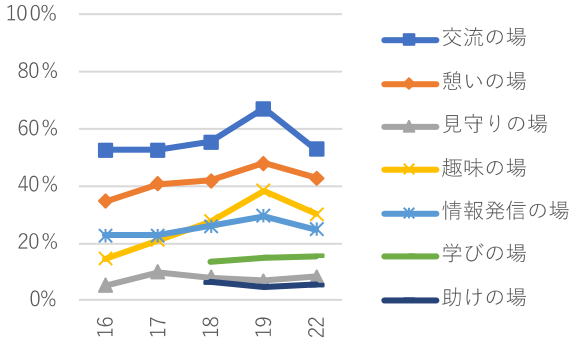

図 2-2-4. ひばりテラスへの現状認識の変化（UR）

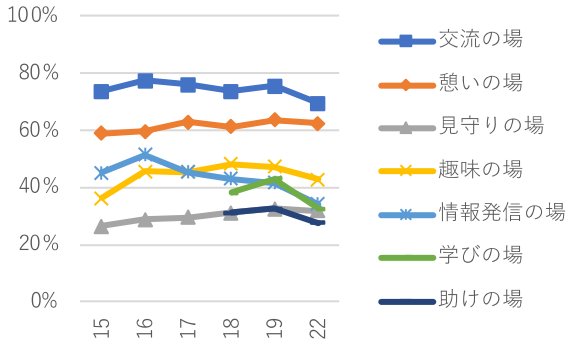

図 2-2-5. ひばりテラスへの期待の変化（分譲）

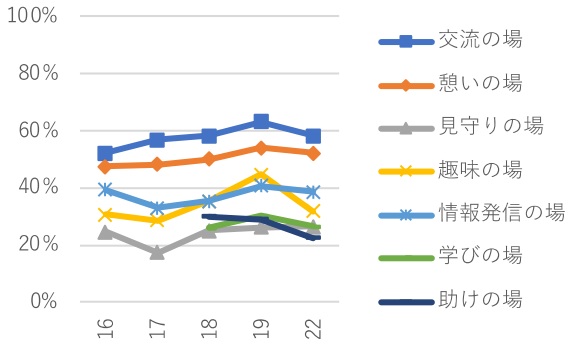

図 2-2-6. ひばりテラスへの期待の変化（UR）

3. 地域のつながり

まちにわの活動目標のひとつに、街区を超えたひばりが丘エリア内でのつながりづくりがあります。それがどの程度実現しているか、この設問では尋ねてみました。

3-1. 親しく話をする人、頼み事ができる人の有無

同じ街区（同じマンションのこと、戸建ての場合はセキュレア内、UR の場合はひばりが丘パークヒルズ内）で「親しく話をする人」や「頼み事ができる人」がいるかを尋ねたものが図 3-1-1、2 です。図 3-1-3、4 には、そうしたつながりがひばりが丘の地域内にあるかを示しました。

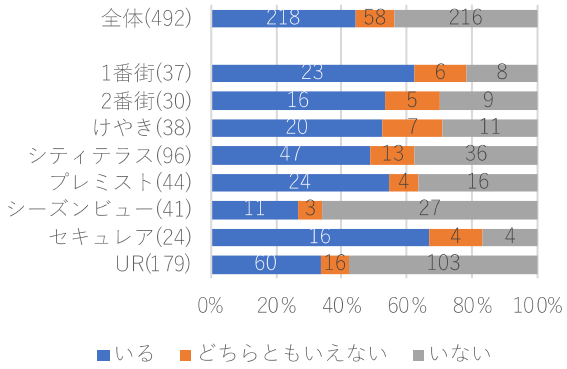

図 3-1-1. 同じ街区で親しく話をする人の有無

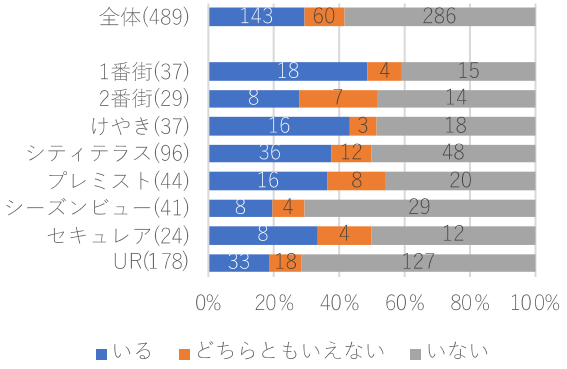

図 3-1-2. 同じ街区で頼み事ができる人の有無

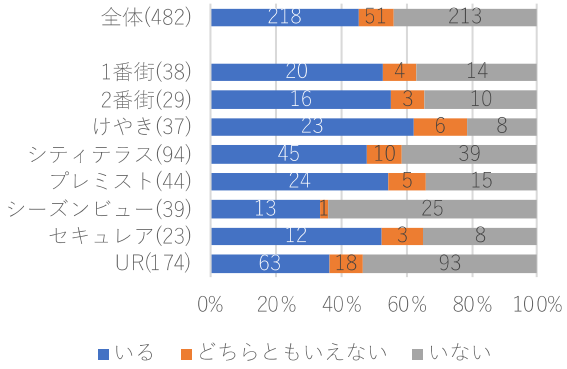

図 3-1-3. ひばりが丘で親しく話をする人の有無

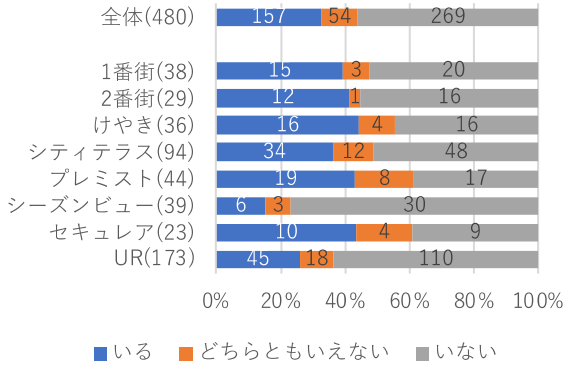

図 3-1-4. ひばりが丘で頼み事ができる人の有無

図 3-1-5 は、これらのつながりの経年変化をまとめたものです。

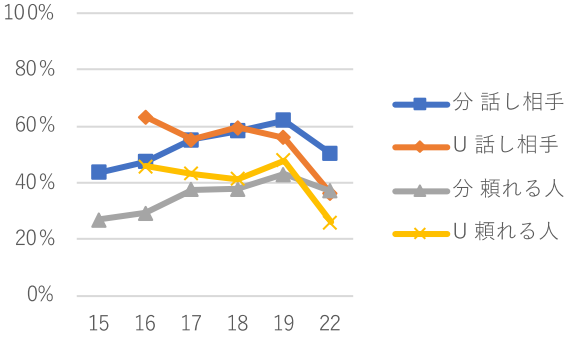

図 3-1-5. ひばりが丘でのつながりの有無の推移

ひばりが丘に話し相手や頼れる人がいる割合

は、分譲街区、UR の居住者ともにコロナ禍を経て大きく落ち込みました。なかでもコロナ禍直前の2019 年に入居が始まったシーズンビューでは、近隣の関係づくりがこれから期待されます。

3-2. 親しく話をする人、頼み事ができる人の変化

まちにわの活動やひばりテラスでの交流を通して街区内で親しく話をする人が増えたかを尋ねたところ、図 3-2-1～4 の結果が得られました。

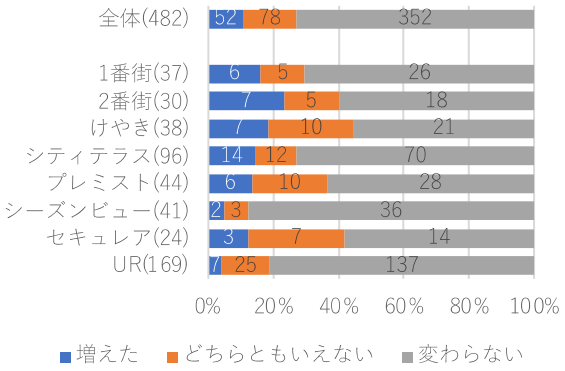

図 3-2-1. 同じ街区で親しく話をする人の変化

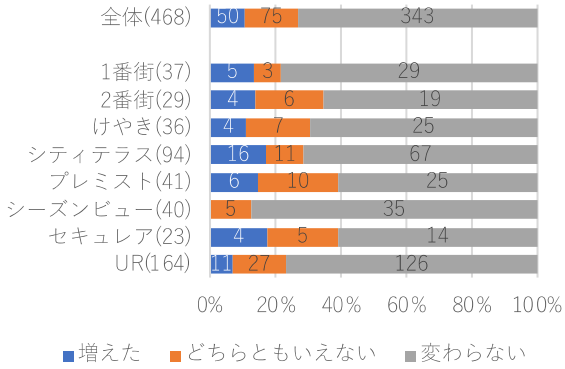

図 3-2-2. ひばりが丘で親しく話をする人の変化

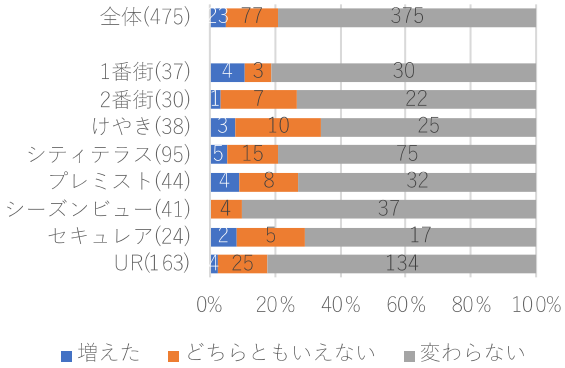

図 3-2-3. 同じ街区で頼み事ができる人の変化

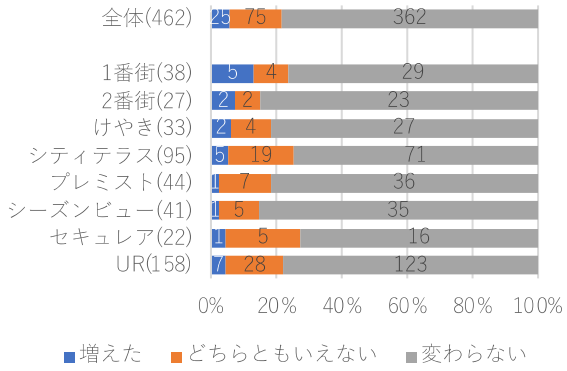

図 3-2-4. ひばりが丘で頼み事ができる人の変化

地域での新しいつながりづくりを目指してきたひばりテラスやまちにわの活動ですが、コロナ禍で活動が制限されるなか、そうした機会創出が現在では最盛期のおよそ半分となっています（図 3-2-5）。

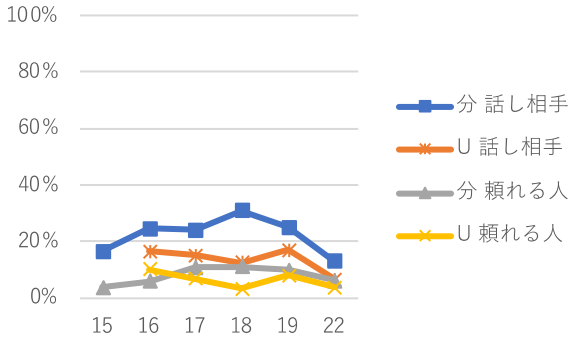

図 3-2-5. ひばりが丘でのつながりの変化の推移

4. まちの魅力と課題

この調査では、まちへの愛着がエリアマネジメントの活動を根付かせていく基盤となると考え、アンケートでもそのことを問いました。また、まちの魅力・課題や推奨度を尋ねました。

4-1. まちへの愛着

ひばりが丘を「自分のまち」と感じるかを尋ねたところ、図 4-1-1 の結果が得られました。

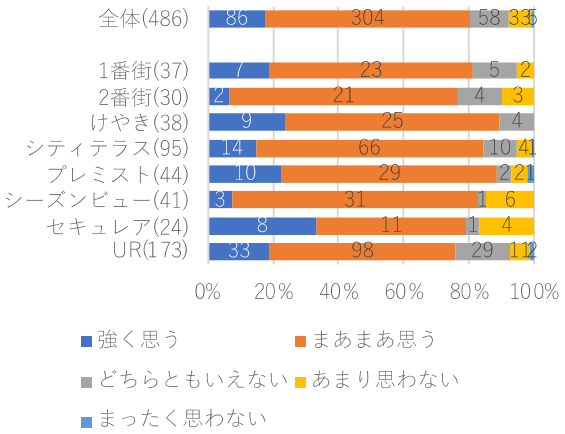

図 4-1-1. まちへの愛着

図 4-1-2 は、そう思う人（「強く思う」「まあまあ思う」を足したもの）の割合の変化を示したものです。現在すべての街区で 8 割の方がひばりが丘を「自分のまち」と感じるようになっています。

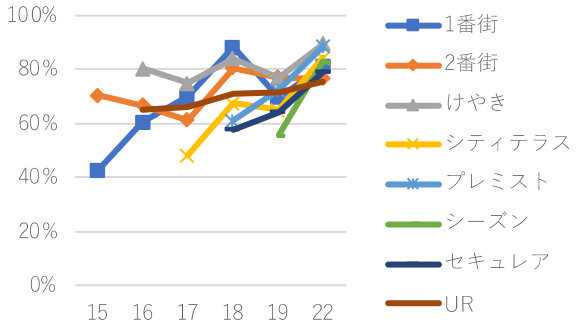

図 4-1-2. まちへの愛着の推移

4-2. まちの魅力と課題

図 4-2-1 と図 4-2-2 は、ひばりが丘というまちの魅力と課題を上位 3 つまで尋ねた結果です。

魅力は、分譲街区・UR ともに「まち並み・景観」「自然環境」「安心・安全な地域」が多く挙げられました。

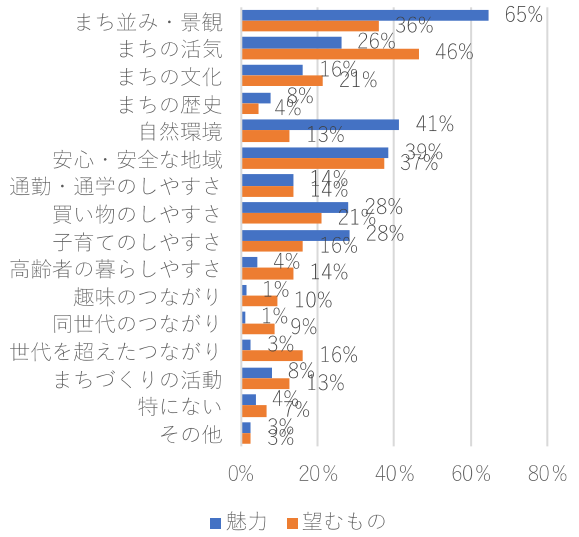

図 4-2-1. まちの魅力と望むもの（分譲、n=314）

課題として最も多かったのは「まちの活気」です。魅力とされた「安心・安全な地域」は、さらなる課題としても認識されています。

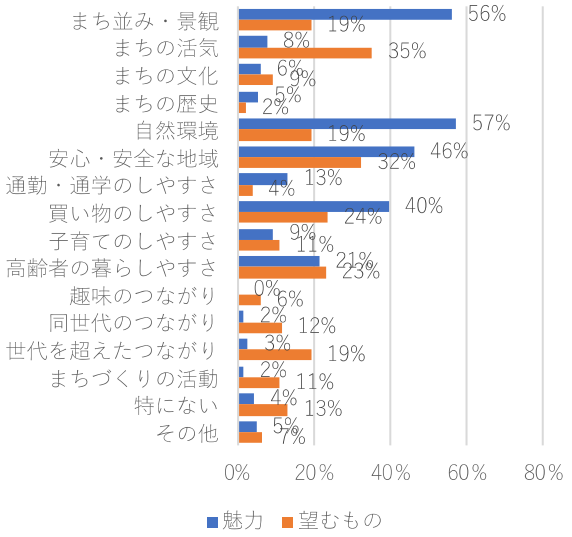

図 4-2-2. まちの魅力と望むもの（UR、n=182）

4-3. ひばりが丘の NPS

図 4-3-1 は、「ひばりが丘というまちを親しい友人やご家族にどの程度勧めたいか」を 0 点から 10 点の 11 段階で尋ねたものです。これは「ネットプロモータースコア (NPS)」と呼ばれる指標で、企業や商品に対する顧客の推奨度を測る際に用いられるものです。ここでは、0-6 点の評価をした人を「批判者」、7-8 点を「中立者」、9-10 点を「推奨者」と捉えます。

図 4-3-2 では、この NPS の 2018 年からの推移を見てみました。分譲街区では「推奨者」がやや増えています。

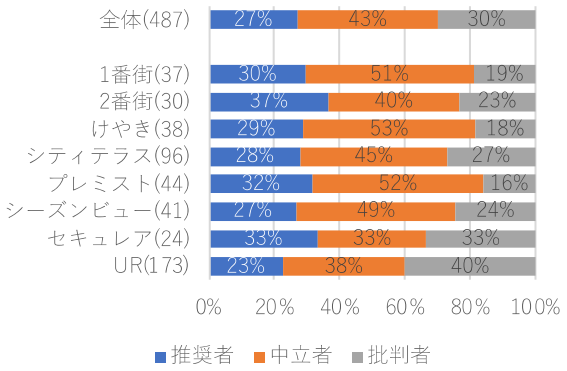

図 4-2-1. ひばりが丘の NPS

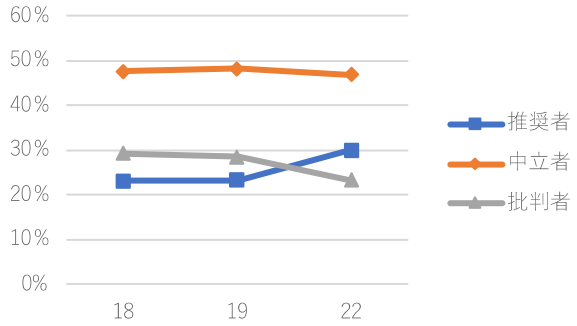

図 4-2-1. ひばりが丘の NPS の推移（分譲）

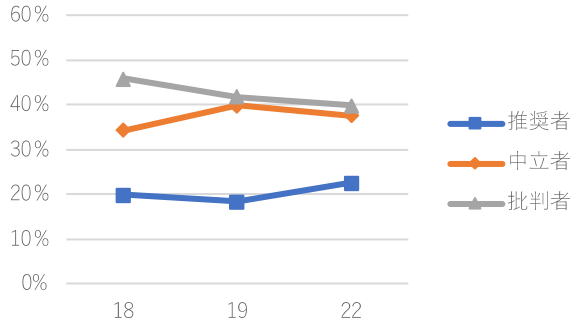

図 4-2-1. ひばりが丘の NPS の推移（UR）

5. イベントへの参加と要望

コロナ下の活動自粛でイベントの開催も制限されてきましたが、ポストコロナに向けて、企画／参加してみたいイベントのテーマを尋ねてみました。

5-1. イベントへの参加要望

図 5-1-1 は、まちにわが主催／協力するイベントに参加したいかを示したものです。分譲街区では 5～7 割、UR では 5 割が参加したいと「強く思う」または「まあまあ思う」と答えています。

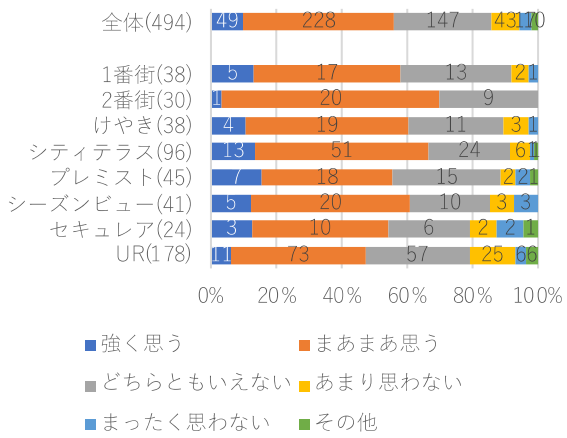

図 5-1-1. イベントに参加したいか

5-2. 企画したい／して欲しいイベント

図 5-1-2 は、まちにわで企画したい、またはまちにわに企画してほしいイベントのテーマです。

分譲街区・UR ともに「健康・運動」「趣味の交流」「防災・防犯」が多く挙がりました。分譲街区と UR の間で開きが大きかったのは「子育て」「しごと体験」です。「まちの文化・歴史」「高齢者の暮らし」「教育・福祉施設との交流」は、UR の希望が分譲街区を上回りました。

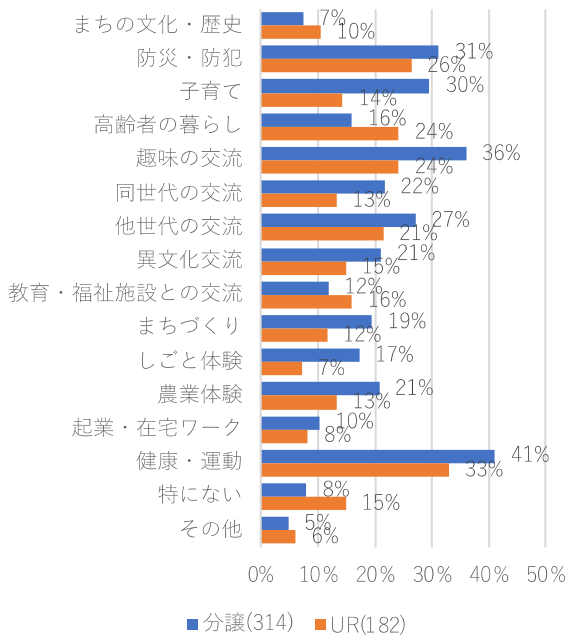

図 5-1-2. 企画したい／して欲しいイベント

6. 管理組合との連携

分譲街区のマンションや住宅地の管理組合・団地管理組合は、まちにわの正会員となっており、防災委員会の立ち上げ支援や地域活動の企画運営等で連携しています。

6-1. 連携への認識

そのことを知っているかを尋ねたものが図 6-1-1 です。「詳しく知っている」人は 1 割程度にとどまり、「知らない」という回答も 1/4 見られます。

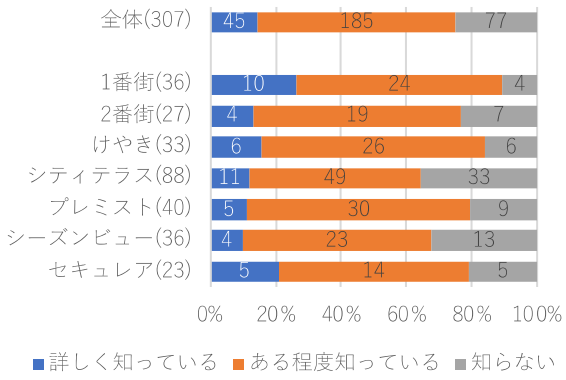

図 6-1-1. 連携への認識

6-2. 連携への評価

管理組合・団地管理組合とまちにわの連携の評価は、図 6-2-1 の通りです。

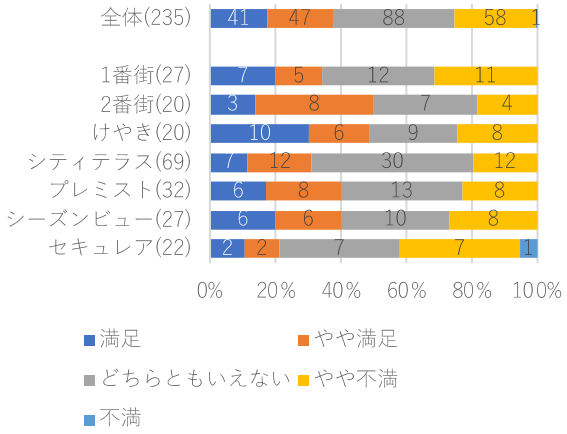

図 6-2-1. 連携への評価

これと図 6-1-1 で見た連携への認知との関係を見てみると、連携関係にあることを詳しく知っている人ほどそのことに対する評価が高いことがわかります。

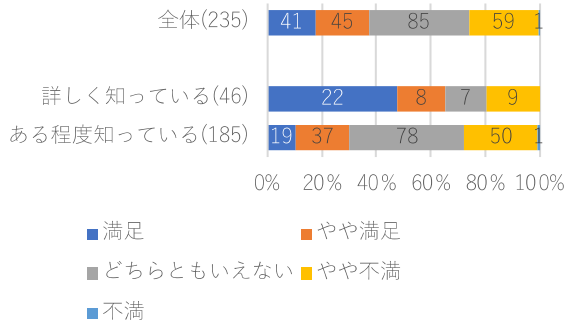

図 6-2-2. マンション連携への認知と評価

7. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア

ひばりが丘のまちづくり全般について、地域のみなさまより、以下の意見やアイデアをいただきました。一部を抜粋して紹介します（表 7-1）。なお個人が特定されやすい事柄など一部編集しました。

表 7-1. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア（一部抜粋）

- コロナ禍で様々なイベントが縮小されたかと思いますが、貴重な地域交流の場であるので、是非是非工夫してこれからも活動を続けて頂きたいです。いつも楽しいイベントの企画運営などありがとうございます（30 代女性、分譲）
- 子育て中（0 歳）でお手伝いなど参加できませんが、楽しく季節を感じるイベントを企画してくださってありがとうございます。毎日のキッチンカーもちょっと手抜きしたい時に利用できて助かっています。ゆくゆくフリマや不要になった品をセカンドユースとしてできる仕組みができればいいな～とうっすら思っています。譲ります！譲ってください！みたいな掲示とか。エコで循環できたらいいな～（30 代女性、分譲）
- にわマルシェは何度か訪れ、すてきなハンドメイド品を見つけて愛用しています。地域のつながりについて、同じ棟内にたまたま高校時代のクラスメイトがいるので、仲良く近所づきあいをしていますが、それ以外のつながりは新たにできていません（コロナ直前に引っ越してきたため）。育休中に繋がりを増やせればよいなと思っています（30 代女性、UR）
- まちにわはひばりが丘団地の一つの魅力になっていると思います。応援しています（30 代女性、UR）
- まちにわのコミュニティに参加したいが、情報が少ない気がする（30 代女性、UR）
- いつも企画など本当にありがとうございます。コロナ中ですが、地域の人たちと交流の場があることで、子育てしやすく情報を共有出来たりしています。コロナでなくなった活動やイベントを来年には復活できることを祈っております（30 代女性、分譲）
- 活動が内輪に感じる（30 代女性、分譲）
- コロナも落ち着いてイベントが増えてきているようなので、これから積極的に参加したいです！（30 代女性、分譲）
- 子育て世代の催しが多いと感じ、高齢の両親と暮らす自分は疎外感がある。平日も何かやってほしい（30 代女性、分譲）
- 最近だとひばりんピック（マラソンリレー）がすごくよかったです！いつもありがとうございます（30 代女性、分譲）
- 子供向けに、防災や防犯のワークショップのようなことを開催してみていただきたいです（30 代女性、分譲）
- 障害者交流や支援、子ども向けの学習（農業、工作、料理、天体観測、ピクニックなど）を充実させてほしい。できればレンタルスペースに電子で良いのでピアノを置いてほしい。合唱や合奏サークルへの貸し出しやサークル新設も啓蒙してほしい。ものを作って売る、その出店料や利益の一部を運営費に充てるのも必要なのでしょうが、数百円でもお金を払って会員になっている以上、参加したいと思えるイベントやグループ、交流会がなければ十分に納得はできません。ファミリー向けの住宅が乱立して栄えている地域なので、そして国公立一貫校や私立校の通学区域に入っていてかつ通いやすい立地のエリアなので、こども向けの行事や学びにつながる活動を強く望みます。ハロウィンなどお遊びも楽しいけれど、遊びの中で学べる、自然親しめる機会を設けてほしい親も一定数いると思います。（30 代女性、分譲）
- 地域にお住まいの高齢者と乳幼児や小学生など希望する未成年の子供達との交流会をして欲しい。理由としては両家遠方の我が家や同じような世帯も多く、祖父母との交流が少ない為なるべく多世代交流をしたい。防犯や災害時にも役立つと思う。（30 代女性、分譲）
- にわマルシェのチラシを見るたびに、毎回ワクワクしています。前回のハロウインのスタンプラリーでは、また参加できたことに子供と共にとてもうれしかったです（30 代女性、分譲）
- イベントに参加したいとは思うが、内輪で盛り上がってる雰囲気を感じて敬遠してしまう。通りかかった人達に声かけをしてくれると参加しやすいかもしれない。大人や学生向けのイベントもあると良い。集まりたくなる魅力的なお店やキッチンカーがほしい。ひばりテラスだけでなく、もう少し広く団地地域を使うようなイベントをしてほしい。例えばパンのイベントや、クリスマスマーケットのような、大人も子どもも楽しめるイベントがあると良い（30 代女性、分譲）
- いつも地域のために活動していただき、ありがとうございます。まちにわのような、地域の中間支援的な組織があるだけで、地域の魅力は全く異なっていたと思います。仕掛け自体は、当初 UR、ディベロッパーだったとしても、継続させる方がより大変だと思います。まちにわの取り組みは、地域の拠点、コミュニティの核として、1 つの成果ができたと思います。今後、”エリアマネジメント”、として、ひばりが丘団地地域にどのように展開していくか、楽しみであり、期待したいところです。シティテラスなどの新しいマンションは、新しいコミュニティであり、コミュニティ事業が比較的受け入れられやすいと思います。対して、ひばりが丘団地やピピ通りなど、既存コミュニティとどのようにつながり、事業を展開していくか期待したいです。UR のひばりが丘団地も高齢化の問題や独居老人が多いと思います。そういう方々には、ひばりテラスのような場所は利用しにくいかもしれません。もう少し落ち着いた縁側のような空間が求められるかもしれませんね。ひばりが丘団地のスターハウス前の広場は、もっと利活用出来たらいいなと思っています。おまつりの会場としては使われると思いますが、一角にコミュニティガーデンやコミュニティファームを設けるなど日常的に UR,近隣マンションの住民が集う場になるといいなと思います（30 代男性、UR）

- 通るとなにかやっているのは分かるが、入りづらい。まちにわ自体がどういう立ち位置にあるのかわかりづらい。どういう施設なのかをアピールし、今後どうしたいのかを多くの人の目に留まる場所に広告するべきだと思う（マンションの掲示板を使うなど）（30 代男性、UR）
- これからもこの地域を盛り上げていって欲しいです（30 代男性、分譲）
- ご飯を食べる店がもっと増えてほしい（30 代男性、分譲）
- マラソン大会がとても良いイベントだと思った。地域の皆で力を合わせてタスキをつなぎ、良い交流の場になっていたと感じる。例えば、ひばりが丘の周辺地域からもチームを募集しても楽しそうだなと思った（30 代男性、分譲）
- 各種イベントの企画・運営などいつもありがとうございます。可能な限りボランティア等で協力していきたいです（30 代男性、分譲）
- 子供のイベントの充実（30 代男性、分譲）
- 町内祭りや子供が親と楽しめるイベントを！（30 代男性、分譲）
- 赤ちゃんが楽しめるイベントもやってほしいです（40 代、分譲）
- キッチンカーの料金が割高なので利用し難い。また、複数のキッチンカーがあれば選択肢が増えるのでありがたい。月 300 円の会費に対して恩恵が少ないと感じる。他の方々との交流よりも家族だけで利用できるサービスがあった方が良い（40 代、分譲）
- コロナの影響もあり、以前期待していたほどの交流がない状況が続いています。せっかく周りにたくさん同世代の人が暮らしているのに、エレベーターで会っても挨拶もないような状態は悲しいですね（40 代女性、分譲）
- 「まちにわ」の運営について人件費その他経費はどのようにして調達しているのか知りたい（40 代女性、UR）
- 子育て世代には楽しい街だと思います。子供がいない世帯もあるので大人向けの講座やイベントを企画してほしいです。パソコン教育とか税（相続税）、資産運用などの講座など（40 代女性、UR）
- HP があまり見やすくないというか、ぱっとしない感じがします。活動については気になっていますが、今更しずらいようなそんな所です。悪い印象は特にありません（40 代女性、UR）
- イベントをたまにしているのは知っていますが、初めてでも気軽に参加しやすい雰囲気のイベントがたくさんあると参加しやすいです。なんとなく知り合い同士で盛り上がっている印象を感じます（40 代女性、UR）
- 引っ越してまだ 3 ヶ月ですが、このような活動があり、ひばりが丘は素晴らしいところだと思います。これからも活動も楽しみにしています（40 代女性、UR）
- コンマコーヒーが前は入りやすかったけど、今は混みすぎてなかなか入れないので、もっと気軽に入れるとうれしい。キッチンカーや野菜販売が珍しい野菜もあり、良く利用しています（40 代女性、UR）
- まちに住んでいる外国の方とも交流が持てるようなイベントに参加してみたい（40 代女性、分譲）
- おいしいパン屋さんがあると嬉しい（40 代女性、分譲）
- いつもいろいろなイベント企画ありがとうございます。お気に入りの住まいです。ハロウインイベントはたくさんの工夫があり楽しかったです。季節ごとに（クリスマス、七夕など）イベント（参加型）があったらうれしいです。行き会う人ともっとあいさつが増えたらうれしいです。これからもよろしくお願いします（40 代女性、分譲）
- 若い世代や小さいお子さんが増えて、騒々しくなった。小さい子供がいなくて参加しやすいイベントを企画してほしい（40 代女性、分譲）
- 駅がもっとお洒落になってほしい。まちにわとひばりが丘駅との交流（40 代女性、分譲）
- イベントなどがあると広がりがあって良いと思います（40 代女性、分譲）
- 夜、若干暗いくて怖いので電灯を増やしてほしい（40 代女性、分譲）
- 先日開催された久々のにわジャム、ハロウィンイベント等子供たちも楽しんだだけでなく、地域の大人たちも楽しそうだったのが印象的でした。コロナ禍でなかなかまだ難しい部分もあるでしょうが、こういった企画は長く続けていただけると地域の交流や魅力にも繋がると思うので、よろしくおねがいします。落ち着いてきたら私も何かしらで協力出来たらいいなぁと思っています（40 代女性、分譲）"
- 今までのイベントなどある程度分かりましたが、参加したことがないです。けど、見守ります。よろしくお願いします（40 代女性、分譲）
- ハロウィンの子供参加のスタンプラリーがおかしが無くなってしまっていて残念。ここに住んでいる人には引換券が欲しいです（40 代女性、分譲）
- イベントに参加するのに少し勇気がいるので、参加のハードルが低いイベントがあると良いと思います（40 代男性、分譲）
- ひばりが丘内に期間限定で商店、飲食店を誘致して評価が高ければ商店街などへの出店の後押し。フィールズやプレミストの住人がひばりが丘団地の公園や施設に早朝や夜にスポーツや遊びに来て騒音を感じる。フィールズやプレミストの敷地内で活動するスペースを作り使用するよう通知してほしい（40 代男性、UR）
- スタンプラリーなど街に活気を与えてくれてることにすごく感謝しています。ひばりシェアデパートメントなどはすごくいい取り組みであそこから月曜弁当に続くチェーン店ではないお店が増えていくことを願ってます（40 代男性、UR）

- covid-19 の影響が大きい中での活動、お疲れ様です。引き続き、多種多様なイベント企画を楽しみにしています。次世代への伝統文化やお祭り、しきたりをしっかりと継承できる機会があるとおもしろいと感じています。今後ともよろしくお願いします。（40 代男性、分譲）
- 毎月￥300 の費用も馬鹿にならないので、もう少し役に立つことを開催してほしい。子供のいない世帯には全く興味がもてない（40 代男性、分譲）
- 春休み、夏休み、冬休み、子供の休みに合わせて大規模なイベントをやって地域を盛り上げて欲しい。西東京にゆかりのある芸能人とか呼んでイベントしたり。午前～午後夕方くらいまでのイベントをしたり（40 代男性、分譲）
- コロナで活動が制限される中にあっても様々に工夫いただいていると感じています。自分自身少しずつ交流が再開できればと考えています（40 代男性、分譲）
- 今後とも宜しくお願いします。いつも様々な企画をありがとうございます（40 代男性、分譲）
- 以前のようなイベント（餅つき、夏祭り）の復活を心待ちにしています。住民が主体になって楽しみながらまちのコミュニティ形成、つながりを広めていくことが、このひばりが丘では出来ると思っています。今後とも色々と協力していきますので、よろしくお願いいたします（40 代男性、分譲）
- いつか資金が尽きて活動ができなくなるのではという不安があるのですが、大丈夫なのでしょうか？（40 代男性、分譲）
- コンマカフェ営業終了後の活用(立ち寄れるバーなど)（40 代男性、分譲）
- ひばりテラス 118 のスタッフが、もう少し愛想を持った方が皆が集える場所になると思います。特にお一方は挨拶しても冷たく驚きます。怪訝なお顔でお顔で何かおつらいことでも続いているのでしょうか？笑顔が見えないオフィス（50 代、分譲）
- 特に高齢者の方や、子育て中の方、病気療養中（心・身）の方など、人とのつながりが少なくなりがちな人が、孤独にならないような環境を作りたいと思います（50 代女性、分譲）
- 仮住まいで短期で借りている者です。安心安全、買い物にも大変便利で気にいりましたが、同じ棟の人ですら進んで挨拶をする方が少ないと感じます（高齢者の方はまだご挨拶のコミュニケーションはあり）。若い世帯は希薄ですね。色々な年代を通して関わりが持てるような機会があったらいいと思います（50 代女性、UR）
- NPO のパン販売やその他のイベント（起業した若者のキッチンカー）や新鮮な野菜販売など、都心に住んでいたころにはなかった出会いにとても魅力（ひばりが丘の個性）を感じています。一方で事前にイベント企画を知れたらもっとありがたいとも感じて言います。上述の出会いはすべてたまたまそこを通ったから知れた・・・という状況でした。ある日はもう店じまいの時にそこを偶然とおりかかり「もっと早く知りたかった」という気落ちでした。どこも魅力的なイベントをなっている印象を受けます。おそらく団地の多くの方も「こんなイベントがあるのだ」と知れたら楽しいにして、喜ばれるのではないでしょうか。色々と大変なこともあるかと察しますがこれからも発信の程よろしくお願いいたします。楽しみにおうえんしております（50 代女性、UR）
- 急な来客用の駐輪、駐車スペース（コインパーキングなど）（土日祝日に使用できるスペース）（50 代女性、分譲）
- まちにわは自転車を降りて通行する看板があるが、誰 1 人守っていない。何のための看板なのか？周知徹底させるつもりなのか？よくわからない。また、学習塾の迎えの車の違法駐車に対して住民は困るのにそのまま放置。マラソン大会、キッチンカーの集合やっても良いが、ゴミの散らかし通行障害、よく考えてほしい（50 代女性、分譲）
- 地域交流として誰もが気軽に集える場として、例えば個人的に農作物やパン等を作ったりしたことや、それらに伴う情報交換などが出来、定期的に集まれるかつ活気ある場があれば当面は良いなと思う。実際として都心部に通勤する会社員が多いからなのか、地域コミュニティの有り様にこの数年住んでみて偏りがある気がしている（50 代男性、分譲）
- 現役世代にもう少しスポットを当てて活動して欲しい。子育て世代と高齢者世代のはざまで、特に子なしとかだと外に出て何かするということが無いので（プライベートでは）（50 代男性、UR）
- 旧 UR の建替え時の周辺土地の分譲マンションを含めたこのよくな取り組みをされてるのを知らなかったが、とてもいいことと思います。ここら辺は飲食店がなく不便なので、飲食店を作ってほしい。イオンまで徒歩ではあるが、ここら辺で飲食を通じた交流が望ましい（50 代男性、UR）
- 今まで以上の地域交流にもっと場を増やしてほしい。休日だけでなく平日にも小さいながらもイベントあれば、平日休みの人も参加しやすく、まちにわの認識度が上がるのでは？地域の防犯防災にも力を入れてほしい（50 代男性、分譲）
- まちにわの活動、ありがとうございます。私はこれまで直接の参加はありませんが、街の活性化、交流の深化に大きな意味を持っているイベント、取組みを数多く実施されていると考えております。これからも継続をお願いいたします（50 代男性、分譲）
- 粗大ごみに出されたバギーや子供用の椅子、育児の保養品などで使えそうなものをマンション内なり 118 広場なり、フリーマーケットでもリサイクルシステムができて、欲しい人に無駄なく使えて、お助け感謝の交流があると嬉しい。コロナ禍の中でのお祭りやイベントの難しさを思いますが、伝言板などで伝え会えるものはあると思います。(60 代女性、分譲）
- 他の地域から遊びに来た友達は緑の多さ、ビオトープ、買い物のしやすさ、COMMACOFFEE をうらやましがります。綿入もひばりが丘団地に引っ越してきた一番の理由はみどりの多さと買い物等生活の師やすさでした。住んで 4 年になりますが、これからはもっと値域にとけこむよう情報を得ていこうと思いました。(60 代女性、UR）
- 発行物を読ませていただいたり、イベントに足を運ばせてもらい、皆さんの活動に触れさせてもらったりすると、素晴らしいなあと感じます。一住民として受け身な関わり方しか出来ませんが、自分の住む地域が新しい力で輝いていくのを肌で感じ、頼もしく思います。これからも楽しい企画期待致します。実（遂）行されている皆さんには感謝しかありません（60 代女性、UR）
- 街のルールをよく理解していないので、街づくりの全体像がつかめない。若い人たちが中心になって活動している様なので、参加しなくても、側でにぎわいを感じているだけで満足である（60 代女性、UR）

- 自然や暮らしやすさなど今でも十分良い環境だと思います（60 代女性、UR）
- 高齢者向けのイベントがもう少しあれば参加したいと思います。Ex.手芸教室や料理教室（60 代女性、分譲）
- 区部に 30 年以上住んでいて、数年前に UR に引っ越してきました。そこでひばりが丘団地がとても気に入って、ずっと住みたいと思いました。そこに建設された→マンションを、スーパーで大根を買うように購入してしまいました。満足しています。マンションは子育て世代の若い方が多いので、子育てに協力出来るようなボランティア活動をしたいと考えています（60 代女性、分譲）
- 庭木の剪定のやり方など、講習会を季節ごとに行っていただきたい（60 代女性、分譲）
- 表札がない方も多く名前も顔も年齢もわからない近所の人との交流はどのようにしていくのか知りたいです（60 代女性、分譲）
- 地域コミュニティの形成に努力されていますが、日本の経済状況の悪化に伴い、今後はその維持に力を割かれいくと思います。大変ですがよろしくお願いします（60 代男性、分譲）
- 近隣の住民が気兼ねなく楽しく集える場所であってほしい（60 代男性、分譲）
- 農作業が出来る家庭菜園を増やして欲しい（60 代男性、分譲）
- ファシリテーションを学びましょう（60 代男性、分譲）
- 西友前のアンケート（商店街）の活気づけをしたいですね。バーの豪や焼き鳥のりちゃんをうまく活用したイベント等してほしい。中年の世代交流から始めて、若い世代を巻き込めたらいいですネ。現地集合でボウリング大会とか企画しても良いのでは？（久米川ボウルは 6 ㎞、Ck ボウル新座は約 7 Km、etc）（60 代男性、UR）
- まちづくり活動を住民として陰ながら応援しています。活動のアイデアを思いつきですがいくつか挙げてみます。※単発の学習的な講座の開催　DIY 講座、園芸講座、手芸講座、料理講座、健康講座、※単発のエンターテイメントの開催　落語、演芸活動、映画、コンサートなど。※単発の交流的な活動の開催　高齢者にも興味がもちやすい　骨董市、演芸市、リサイクル市、（コロナが収まれば移動動物園の開催。）※継続的な交流に繋がるかもしれない活動　・合唱団？コーラス部？の結成、・運動会の結成（性別、年齢、身体機能関係なく参加して楽しめる　澤田智弘さん提唱の｀ゆるスポーツ｀的な活動。参考図書「マイノリティデザイン」）　・ギネスに挑戦　的な活動　◎近隣の学校の体育館を使わせていただけると、音が出る活動や多人数が集まる活動など、活動の巾がひろがりますね（60 代男性、UR）
- 現在の新型コロナ禍の下では多数の集客が見込まれるイベントは難しいと思いますが、「B 級グルメ」「ラーメン」「カレー」等のグルメの祭典や、「オクトーバーフェスタ」が開催されれば必ず参加いたします（60 代男性、UR）
- 商店街とスーパー、コンビニを巻き込んでの街づくりを望みます（60 代男性、UR）
- アンケート活動、お疲れ様です。「まちにわひばりが丘」の活動を応援しています。体力の続く限り活動に参加、協力して行きたいと思っていますので、よろしくお願いします（60 代男性、分譲）
- 人間関係が希薄になりつつある現状にこの様なコミュニテイがある事は心強く思います。付かず離れずの程良い関係が素晴らしいとも有難いとも思っています。ここに居住できて本当に良かったと感謝です（70 代女性、分譲）
- 環境が静か。安全など高く評価しています（70 代女性、分譲）
- 自然環境に恵まれ、多年代の住民が混在して理想的なコミュニティだと喜んでいます。買い物も楽しく、交通の便が結構よいので”くらし”には便利（快適）ですね。この地を選んでよかったです。今後はいかに自分が主体となってみんなのために、ひいては自分のためにコミュニティの一員になるかを模索しています。よろしくお願いします（70 代女性、UR）
- 若い人の集まりとしか思えない。年寄りは近づけない気がする（70 代女性、UR）
- 居住年数が浅いので、まだいろいろなことが分かりません。徐々に慣れて行けばよいかなと気楽に考えています。今のところは十分楽しんで暮らしております。若い方たちの元気な姿の見えることをどんどんやっていただきたいです（70 代女性、UR）
- 例えば、「まちにわひばりが丘」があったとしても、決まった人しか利用、活動していないと思います。もっと団地全体に全員にいきわたるような情報交換の場があったらいいなと思います。今後は一人暮らしが増える傾向にある中、その辺の考えなど集約していく必要があるのではないかと思います（70 代女性、UR）
- 住んで日が浅いせいか全体が把握できていない。自然豊かで広々しているので心は豊かになったが人とのつながりがない。自分が積極的に交流しないせいでもあるが、ジャズコンサートのような交流の場を増やしてほしい。防災訓練のお知らせがあったがどこに行ったらよいのかわからなかったので出席しなかった。「ひばりが丘クリーン活動」のような活動があれば参加したい（70 代女性、UR）
- 高齢ですが、集合住宅に暮らしたのは人生初で、当初は不安ばかりでしたが、思いのほか、個の生活が守られていることに安心しました。済み始めて仕事に日々追われ、近所の方とも接点がありませんでしたが、最近お隣の方からとても大切にしていただき、幸せな日々を送っております。この幸せをより多くの方におすそ分け致したいです（70 代女性、UR）
- 特に会話がないがエレベーターで乗り合わせたり玄関先ですれ違った時にほとんどの方達があいさつをかわしてくれて、それがとても気持ちが良い（70 代女性、UR）
- あまり参加したいと思う企画がありませんでした.。知り合うきっかけになるような企画があるとよいです（70 代女性、分譲）
- 新しい視点での発展、活気づいている様子。団地付近の「空気の良さ、気持ちの良さ」に惹かれ引っ越して来たので、空気の良さは維持してほしい（70 代女性、分譲）
- 物価が安くて大変良い。通学路、通園路に住んでいるので子供たちの元気な声を毎日聞いているので、毎日朝楽しみにしております（70 代男性、UR）

- 来年転居しますので、参加できず、皆様の活動・活躍を願っています（70 代男性、UR）
- イベントは周りの民間会社（東京ガス、西友、ローソン等）と自治会を含めタイアップして実行を（図書館、地区センター、西東京児童館、福祉施設、老人ホーム）。イベント場所は自治会事務所前の広場を利用し団地の中心部分で行ったら良いと思いますが（3 号棟、5 号棟からも参加しやすいと思います）。追伸　団地の人々の日常の食料品購入は北にある西友と中原小学校の東側のマンション群にある生協に分かれているようです。「まちにわ」に行くには 5 号棟 3 号棟が近いと思われますが、それ以外の人々は買い物途中によることはむずかしいと思いますので、イベントは自治会事務所前の広場とお山の公園で行っていただけるとうれしいですね。（70 代男性、UR）
- UR ひばりが丘団地に住んで数十年、人生の半分をこの町で生きてきて思うこと。住環境ががらりと変わり、若い人たちが増え活気が出てきたこと、子供たちの元気な声や姿に触れ、うれしい限りです。まちにわひばりが丘の活動にも感謝。色々なイベントにも折々に参加して楽しませてもらっています。これからもひばりテラス 118 の若い方達に私たちの地域を盛り上げていただくことを期待し、大いに応援しています。緑多く環境の良いひばりを終の棲家に選んだことに満足している今日この頃です（80 代、UR）
- ひばりが丘団地に住んで数年になります。一人暮らしですが特に寂しくもなく、図書館で本を借りたり西友で買い物したり、のんびりと暮らしていますので、心から感謝し満足しています。特に困ることではないのですが、ひばりテラス 118 とまちにわひばりが丘がよくわかりません（80 代女性、UR）
- 住環境は申し分ないと思いますが、人の温もり、土の温もりが感じられません。渡る世間は金次第（80 代女性、UR）
- せっかくの「まちにわひばりが丘」という意義ある活動が行き渡っていない。直接関係あるとは言えないが、ピピ通りが経営主の高齢化、その他で変化を余儀なくされていて残念だ。かつては生活に密な商店街で活気があり、スカイラークもピピ通りから飛び立った。現在は住宅、医療、福祉関係施設、その他に変容しつつある。ひばりが丘という大団地を控えて、大勢の人（利用者）が確保できるので、絶対個性的な商店街になるであろう。勿体ないと思う。誰か知恵と力のある方手を挙げてください（80 代女性、UR）
- 住んで数年、深く土地の事は分かりませんが、住環境は自然も沢山あって、とても良いと思っております。できれば住まいの近くで人の交流や趣味の楽しみなどが出来たら、もっと楽しく日々が送れると思います（80 代女性、UR）
- イベント自体が若い人向きが多い。高齢者は参加しにくい（80 代女性、UR）
- 数年前に仮住まいで住むことになりました。最初はとまどいましたが、交通も便利だし散歩にはとても環境がよく楽しんでいます。しばらくすると区部に戻る予定です。80 代の夫婦です。テラス 118 は楽しめました。特にカフェ COMMA はお気に入りです。コロナがなければお友達をお連れしたかったです。（80 代女性、UR）
- 80 代で一人暮らしで自立してすべて人にたよらず暮らしております。趣味は書道と編み物です。現在コロナのためイベントには参加しないように気を付けています。でも日光に当たって散歩するよう子供たちに云われておりますが買い物と医者以外は外出しませんがたまたまにわマルシェに参加して手作りのネックレスを買ってしまいました。まちにわのイベントはひばりが丘に住む若夫婦のためにある様に思いました。年寄り向きの安くておいしいコーヒーの喫茶店があったらいいなと思いました。もちつき大会には参加してとてもおいしく親切で良かったのでコロナでなければ又参加したいです（80 代女性、UR）
- こうして積極的に考えてくれることは有難い事です（80 代女性、分譲）
- マンションの生活も 5 年→数年目となり少しずつ慣れてきました。コロナなどの影響もあるのでしょうか、もう少し同世代交流、世代間交流があっても良いのではないかと思います（80 代女性、分譲）
- 高齢化、少子化が進む時、祖国の将来を担う、子供を大切にする街づくりを望む。子供の貧困、格差の撲滅、子ども食堂の拡充（80 代男性、UR）
- 高齢者の世代を超えたつながり（80 代男性、UR）
- 高齢者に住みやすい街にしてください（80 代男性、UR）
- 数年前に引っ越してきた。この 3 年間、誰一人として交流した人は居ない。二人でひっそりと箱家生活をしている。私達だけでなく多くの人々がこの箱家の中で誰一人声を交わす友人もなくひっそりと暮らしているのだろうと想像している。コロナもそろそろ終わりが来るだろうし、一人でも二人でも知人・友人を作りたいが、どのような出会いの場があるのか機会があるのか分からない。「まちにわ」のイベントも何度か出向いてみたけれど、ただ出店が並んでいるだけで交流の場、チャンスではない。「まちづくり」を考えて頂いているのであれば、例えば UR でも各棟ごとに交流を希望する人の出会いの場所、機会を作っていただくとか、小旅行を企画するとか… そのようなきっかけを作っていただければありがたいです（80 代男性、UR）
- 盆踊り、クリスマスパーティー（電飾）等。行事を増やしてほしい（80 代男性、UR）
- ”まちにわ”に関しては、住民が道路を通った際、又、隣の公園を突っ切った際、”コミュニティの施設である、だれでも気楽に入っていく、休んでいく施設なんだ”と分かるように施設前に大きく表示することが必要と思います（喫茶室があるのは外から見て分かるのですが、あとは分からないままとなってしまいます）。こういうコミュニティ施設があるのは住民にとってありがたいことと思っていますが…（80 代男性、UR）
- いつもキッチンカーでお弁当買ってます！これからもよろしくお願いいたします（女性、分譲）

6. まとめ

以上、このレポートでは、ひばりが丘のエリアマネジメントの現状・課題・可能性に関するアンケート調査の結果を見ました。以下は、そのまとめです。

① 回答者の年齢は、新しく分譲された街区ほど若い世帯が多い傾向でした。分譲街区全体では、３０代と４０代で７割弱を占めますが、６０代およそ１割、７０代以上も１割と高年齢の方もお住まいです。UR では７０代以上が５割弱でした。

家族構成は、分譲街区では「夫婦と未成年の子」が６割弱、「夫婦と成年の子」が１割弱で、「夫婦のみ」はおよそ１/４です。ＵＲでは「一人暮らし」が４割、「夫婦のみ」が３割で、「夫婦と未成年の子」は２割でした。分譲街区では子育て世帯が大半を占める一方、UR では、「一人暮らし」や「夫婦のみ」が中心です。

ひばりが丘団地エリアにお住まいの幅広い世代の方々に向けて、活動していきたいと考えています。

② まちにわの存在と活動をともに「知っている」割合は、分譲街区でおよそ７割、UR では３割を占めます。一方、「存在は知っているが活動は知らないとの回答」は分譲で４割、ＵＲで３割、全体では 1/3 ありました。具体的な取組みについて知ってもらうことが今後の課題です。

まちにわの活動趣旨に賛同するかでは、分譲街区ではおよそ９割、UR では５割以上が「賛同する」と肯定的な回答が得られました。この割合は、2015 年の当初からほぼ維持されています。

③ まちにわの活動拠点「ひばりテラス 118」のコミュニティスペース（貸し部屋）、手しごとのお店 HACONIWA、カフェ、花屋、キッチンカーの直近１年間の利用状況では、多い順からカフェは４割、キッチンカーは４割、フラワーショップは３割の人が「利用した」としています。また２回以上利用したというリピート率は、キッチンカー、フラワーショップ、コミュニティスペースの順で高くなっています。

コミュニティスペースや、手しごとのお店 HACONIWA やコミュニティスペースの利用を促進されるような工夫を今後していきたいと考えています。

ひばりテラス 118 が現状どんな場所であるかについて、現状認識では分譲街区、UR ともに「交流の場」「憩いの場」「趣味の場」という回答が多くなっています。現状認識を期待が大きく上回るものとしては、「見守りの場」「助けが見つかる場」などがあげられました。住民の皆さまが求める場づくりができるよう、スペースの使い方や新たなイベントの開催や、地域での情報共有や繋がりづくりのための仕組みについて、検討していきます。

④ 同じ街区で「親しく話をする人」がいると回答したのは、分譲街区ではおよそ半数、UR では 1/3, 全体では４割強でした。

まちにわの活動やひばりテラスでの交流を通して街区内で親しく話をする人が増えたかどうかでは、全体でおよそ１割であった。コロナ禍の影響もあり、いずれの街区でも地域のつながりを作る機会が減少している傾向がみられました。

現在、コロナによる制限はほぼ解除されましたので、地域の人の交流促進のためのイベント等を

積極的に開催していきたいと考えています。

⑤　ひばりが丘を「自分のまち」と感じるかでは、「強く思う」または「まあまあ思う」とした人は、分譲と UR の全ての街区で現在８割です。以前の調査と比較するといずれの街区でも、その割合は増加傾向です。住み続けるうちに、街への愛着が出てきた、強くなってきたと考えられます。

ひばりが丘のまちの魅力では、分譲街区、UR ともに「まち並み・景観」「自然環境」「安心・安全な地域」が多く挙げられました。課題として最も多かったのは「まちの活気」です。「安心・安全な地域」は、魅力としても、さらなる課題としても認識されています。

まちの魅力を生かしながら、より安心・安全なまち、そして活気のあるまちを作るために、まちにわが出来ることを模索していきます。

⑥　自由記述欄にて、イベントに関するものでは、「イベントに参加して楽しく過ごした」「街の活性化や交流に役立っている」と評価していただいた一方で、「すでに輪が出来上がっているようで、新たに参加しづらい」「大人向けのイベントが少ない」と、今後の課題となるものも頂きました。より多くの方に参加機会が提供できるよう、検討していきます。

まちにわの組織や活動に関するものでは、「自分の住む地域の力として素晴らしい」「なるべく活動に参加、協力していきたい」と応援メッセージをいただいた一方で、「まちづくりの全体像がつかめない」「まちにわの活動資金がどうなっているのか、継続していけるのか」とのお声もいただきました。ホームページ、まちにわ通信、季刊紙 AERU、活動報告書などを通じて分かりやすい情報発信に努め、また住民の皆さまも参加しやすい組織づくりを進めます。